

事業番号												0062			
平成 2 8 年度行政事業レビューシート (復興庁)															
事業名		国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構運営費交付金に必要な経費				担当部局庁		復興庁			作成責任者				
事業開始年度		平成 2 5 年度	事業終了 (予定) 年度	平成 3 2 年度		担当課室		統括官付参事官(予算・会計担当)			参事官 後藤 浩平				
会計区分		東日本大震災復興特別会計													
根拠法令 (具体的な条項も記載)		国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構法第16条				関係する計画、通知等		第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日 閣議決定) 第5期科学技術基本計画(平成28年1月22日 閣議決定) 防災基本計画(平成28年5月31日 中央防災会議決定) 福島復興再生基本方針(平成24年7月13日 閣議決定)							
主要政策・施策		医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション				主要経費		文教及び科学振興							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質に対し、福島県民をはじめとする国民の安全・安心を確保するとともに、放射性セシウム捕集材の実用化を進め、福島の被災地における安全な水利用・処理環境の構築に貢献する。また、放射線影響の低減法の開発、合理的な放射線防護体系構築への貢献を行う。													
事業概要 (5行程度以内。別添可)		放射性セシウム捕集材の実用化を進め、被災地の水利用・処理環境における実装や、除染除去物一時保管場所の滲出水に含まれる放射性物質の検知システムの整備等に取り組む。また、放射性核種による健康影響を評価し、提言方策の提示等を実施する。 ※量子科学技術研究開発機構は、放射線医学総合研究所に日本原子力研究開発機構(原子力機構)の業務の一部を移管・統合し、平成28年4月1日に設立。 ※本事業レビューシートのH27年度以前については、放射線医学総合研究所運営費交付金に必要な経費を記載。													
実施方法		交付													
予算額・執行額 (単位:百万円)				25年度		26年度		27年度 ※平成27年度までは放射線医学総合研究所のみ		28年度 ※平成28年度からは原子力機構運営費交付金からの移管分を含む量子科学技術研究開発機構全体		29年度要求			
				当初予算		572		469		433		555		421	
				補正予算		-		-		-		-			
				前年度から繰越し		-		-		-		-			
				翌年度へ繰越し		-		-		-		-			
				予備費等		-		-		-		-			
		計		572		469		433		555		421			
		執行額		572		469		433							
		執行率(%)		100%		100%		100%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標				単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度		
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果が、全ての項目で標準以上の評価となることを目指す ※平成25年度においては、独立行政法人評価委員会の年度評価結果が、全ての項目で標準以上の評価となること		標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合 ※平成25年度は、標準評価(A評価)以上の評価を受けた項目の割合 ※平成27年度の成果実績は評価確定後に記載		成果実績	%	97.8	100	100	-	-			
						目標値	%	100	100	100	-	100			
						達成度	%	97.8	100	100	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載										☐ チェック					

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
		当該施策に関する原著論文の掲載件数。 ※平成27年度までは放射線医学総合研究所のみ ※平成28年度からは原子力機構からの移管分を含む 量子科学技術研究開発機構全体		活動実績	件	7	17	9	－				
				当初見込み	件	－	－	－	6				
単位当たりコスト		算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
		国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構の事業を実施する上で必要な運営費交付金であるため、単位あたりのコストの算出は困難。 ※H27年度以前について、放射線医学総合研究所の単位当たりコストは同理由で算出困難。		単位当たりコスト	－	－	－	－	－				
				計算式	－	－	－	－	－				
平成28・29年度予算 (単位：百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由								
	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構運営費交付金		555	421	復興の進捗に伴うニーズの変化を踏まえ支援の重点化を図ったことによる減								
	計		555	421									
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応(旧 9 科学技術の戦略的重点化)										
		施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応(旧 9-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組)										
		測定指標	定量的指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標		目標年度	
					－					年度	－	年度	
					実績値					－	－	－	－
		目標値	－	－	－	－	－	－					
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
		長期被ばくの影響とその低減化に関する研究を推進することにより、上位施策の目標のうち、ライフサイエンス分野の研究に貢献する。											
		政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応(旧 9 科学技術の戦略的重点化)										
		施策	9-1 未来社会を見据えた先端基盤技術の強化(旧 9-8 新興・融合領域の研究開発の推進)										
	測定指標	定量的指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標		目標年度		
				－					年度	－	年度		
				実績値					－	－	－	－	－
	目標値	－	－	－	－	－	－						
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
量子ビーム技術を活用した、被災地における安全な水利用・処理環境の構築を目的とした研究開発を推進することにより、上位施策の目標のうち、光・量子科学技術分野の研究開発を通じて、社会ニーズに対応した成果創出の促進に貢献する。(平成28年度より)													
アクション・プログラム	改革項目	分野：	－	－									
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時		27年度	28年度	中間目標		目標最終年度	
				－		年度	－			年度	－	年度	
				成果実績		－	－			－	－	－	
				目標値		－	－			－	－	－	
	達成度	%	－	－	－	－	－						
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時		27年度	28年度	中間目標		目標最終年度	
				－		年度	－			年度	－	年度	
				成果実績		－	－			－	－	－	
				目標値		－	－			－	－	－	
達成度	%	－	－	－	－	－							
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
－													

事業所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	本事業は、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射線に対する住民等の不安軽減や国民の「安全」、「安心」にも貢献する重要な事業であり、国民や社会のニーズを反映したものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		-	－
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射線に対する住民等の不安軽減や復興に貢献する取組を実施する運営費交付金であり、必要不可欠な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定に際しては、「随意契約見直し計画」(平成22年4月)等に基づき可能な限り一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。また、従前より仕様書の精査等、更なる競争的環境の強化を図るための取組が進められている。一者応札となっている一部業務については、量子科学技術研究開発機構が仕様書の精査、複数年契約の導入等の競争的環境の強化を図るための取組を進めており、一者応札の状況が改善されるよう引き続き必要な指導を行っていく。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	－
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	－
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	事業目的に即し、必要かつ合理的な支出である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	競争性の確保に努めるとともに、費目・使途は合理的かつ必要なもののみに限定されている。
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	－
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	可能な限り一般競争入札を実施しており、合理的に支出が行われている。また、一般管理費や業務経費を削減するために、業務委託費の見直しや保守修繕費その他の経費の効率化に取り組んでいる。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	主務大臣による平成26年度業務実績の評価において、全項目で標準評価以上の評価を受けており、着実に実績を挙げている。(平成27年度実績については評価中。)
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	支出先の選定に際しては、競争性を確保するため、可能な限り一般競争入札を実施しており、合理的に支出が行われている。また、マネジメントや評価等を通じて効果的・効率的な運営が図られている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	着実に実績を挙げている。
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	被ばく医療従事者等に対する人材育成に貢献するなど、取組の成果が十分に社会に発信され、活用されている。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	本事業は、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射線に対する住民等の不安軽減や復興に貢献する重要な事業であり、引き続き、事業の効果的・効率的な実施に努め、経費の効率化をはかるべき。		
	改善の方向性	調達改善の結果を継続し、一括調達や単価契約に取り組むとともに、国立研究開発法人間で調達実績等の情報を共有し、引き続き効率的な調達に努める。		

外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	福島 の被災地における安全な水利用・処理環境の構築や放射線影響の低減法の開発、合理的な放射線防護体系構築への貢献という観点から復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	福島 の被災地における安全な水利用・処理環境の構築や放射線影響の低減法の開発、合理的な放射線防護体系構築への貢献という事業目的の達成のため、引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。					
備考						
「成果目標及び成果実績(アウトカム)」及び「活動指標及び活動実績(アウトプット)」に記載していた研修事業については、一般会計事業と統合して実施することとなったため、目標及び指標を平成28年度レビューシートより変更した。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	25新-025	平成26年度	071	平成27年度	0069	
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	※平成27年度実績(放射線医学総合研究所運営費交付金に必要な経費)を記入。					
	復興庁 文部科学省へ移替え 文部科学省					
	事業概要 国立研究開発法人放射線医学総合研究所に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を交付					
	〔交付〕 【A】国立研究開発法人放射線医学総合研究所 433.2百万円(運営費交付金部門)					
	事業概要 東日本大震災からの復旧・復興に資するため、放射線核種の環境動態及び長期被ばくの健康影響メカニズムの解明、緊急被ばく医療を実施する。					
	〔請負・調達〕 【A】国立研究開発法人放射線医学総合研究所 433.2百万円 民間会社(全115機関)					
	調達 【一般競争入札】	調達 【一般競争入札】	請負 【随意契約(その他)】	調達 【一般競争入札】	調達 【随意契約(その他)】	請負 【一般競争入札】
	【A-1】 ・復旧作業員などのフォローアップシステムインフラ保守 ・ネットワークシステムズ(株) ・21百万円	【A-2】 ・実験動物用飲水製造装置と高塩素水製造装置の更新 ・(株)東京科研 ・20.2百万円	【A-3】 ・被ばく関連情報管理システムの欠測値表現機能の追加及びデータマネージメント機能強化 ・富士通(株) ・13.9百万円	【A-4】 ・低バックグラウンド用ベータ線スペクトロメータの更新 ・富士電機(株) ・12.9百万円	【A-5】 ・低バックグラウンドガンマ線スペクトロメータの一部更新 ・セイコー・イージーアンドジー(株) ・11.2百万円	【A-6】 ・全自動ウェスタンブロッティングシステム一式の購入 ・(株)池田理化 ・10.5百万円
	事業概要 復旧作業員などのフォローアップシステムを構成するハードウェア等のインフラ基盤の保守業務を行う。	事業概要 飲水製造装置及び高塩素水製造装置を更新する。	事業概要 被ばく関連情報管理システムの機能改善改修を行い機能強化を行う。	事業概要 β線のエネルギースペクトルを計測し、β線放出核種の放射能を定量する低バックグラウンド用ベータ線スペクトロメータを更新する。	事業概要 低バックグラウンドガンマ線スペクトロメータの一部の機器を更新する。	事業概要 タンパク質の分子量及び相対発現量を解析するために全自動ウェスタンブロッティングシステムを購入する。
	【A-7】 ・復旧作業員などのフォローアップシステムの保守 ・富士通(株) ・10.2百万円	【A-8】 ・動物実験病理情報支援システム公開システム開発 ・(株)リベルワークス ・9.4百万円	【A-9】 ・ガラス線量計小型素子システムの購入 ・(株)千代田テクノル ・7.8百万円	【A-10】 ・液体シンチレーションカウンターの更新 ・(株)池田理化 ・7.6百万円		
	事業概要 復旧作業員などのフォローアップシステムを構成するソフトウェア等のサービス機能の保守業務を行う。	事業概要 実験動物病理情報の一部を所外からアクセスできるように公開用データベースとソフトウェアからなるシステムを構築する。	事業概要 環境生物の放射線影響を評価するのに用いるガラス線量計小型素子システムを購入する。	事業概要 低エネルギーベータ線放射性核種の放射能を定量する液体シンチレーションカウンターを購入する。		

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A-1.ネットワンシステムズ(株)					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費(物件費)	遺伝子解析装置(DNAシーケンサー)の購入など	21			
	計		21	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						☐ チェック

支出先上位10者リスト

A.

※落札率について、同種の他の契約の予定価格を類推させる恐れがあるため非公表

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ネットワンシステムズ(株)	7010701007922	復旧作業員などのフォローアップシステムを構成するハードウェア等のインフラ基盤の保守業務を行う。	21	一般競争入札	1	--	
2	(株)東京科研	9010001008594	飲水製造装置及び高塩素水製造装置を更新する。	20.2	一般競争入札	1	--	
3	富士通(株)	1020001071491	被ばく関連情報管理システムの機能改善改修を行い機能強化を行う。	13.9	随意契約(その他)	-	--	
4	富士電機(株)	9020001071492	β線のエネルギースペクトルを計測し、β線放出核種の放射能を定量する低バックグラウンド用ベータ線スペクトロメータを更新する。	12.9	一般競争入札	1	--	
5	セイコー・イージーアンドジー(株)	1040001012832	低バックグラウンドガンマ線スペクトロメーターの一部の機器を更新する。	11.2	随意契約(その他)	-	--	
6	(株)池田理化	3010001010696	タンパク質の分子量及び相対発現量を解析するために全自動ウェスタンブロットティングシステムを購入する。	10.5	一般競争入札	1	--	
7	富士通(株)	1020001071491	復旧作業員などのフォローアップシステムを構成するソフトウェア等のサービス機能の保守業務を行う。	10.2	一般競争入札	1	--	
8	(株)リベルワークス	3010001106809	実験動物病理情報の一部を所外からアクセスできるように公開用データベースとソフトウェアからなるシステムを構築する。	9.4	随意契約(その他)	-	--	
9	(株)千代田テクノル	7010001004851	環境生物の放射線影響を評価するのに用いるガラス線量計小型素子システムを購入する。	7.8	一般競争入札	1	--	
10	(株)池田理化	3010001010696	低エネルギーベータ線放射性核種の放射能を定量する液体シンチレーションカウンターを購入する。	7.6	一般競争入札	1	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							☐ チェック	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-	-	-	-	